

# CEM news

Church Education Ministries

## 教会教育とは聖書教育です

### <聖書知識で生徒を育成する教育>

生徒の働き 20章 32節はパウロからエペソ教会の長老たちへの訣別説教として有名ですが、教会教育の必要性を考える時に、主の大宣教命令とともに思い出されるべき重要な個所です。教会教育とは「聖書を教える働きを通して生徒を育成する教会活動」と定義できます。「育成」するためには生徒の聖書知識が増し加わることを目的とした聖書教育こそ最優先すべきものと考えます。パウロはテモテ第二3章 15節~16節において聖書知識の増加がテモテの救いの確信と信仰の育成とに密接に関わっていることを証言します。

### <高校科テキスト編集委員会の教育計画>

この教育計画の最初の段階から生徒の聖書知識の増加を最優先にしました。聖書知識による生徒の「育成」を考えると生徒の現状を決して無視すべきではありません。米国スクリプチャプレス社代表のラムゼイ師が来日された際の講演において「教会教育とは生徒が現在いる所から次にどこまで導くかを考える働き」とであると語られた。編集委員会は生徒の現状から初級・中級・上級の三段階に分かれた「教理・実践・聖書の読み方」の三部門を3年間36単元で構成するカリキュラムを用意しました。この新しいカリキュラムを2013年4月から開始できるように準備を進めています。

### <生徒の実情から三段階に分けた理由>

「初級」高校生クラスに出席する生徒たちの背景と事情には様々な違いがあります。例えば聖書への関心がなく学ぶ気持ちもない段階で親や友人に誘われて教会に来た生徒の場合です。教師から模範的な指導や質問の解答を求められたならば彼

はそれを苦痛に感じます。興味が湧かない授業には消極的です。私たちはこの段階の生徒を「初級」と考えました。従来の模範的な授業とその適用ではこの生徒の必要を満たすことができません。教師もその対応に苦慮することでしょう。編集委員会はこの現状を考慮し彼らのモチベーションを高めて、聖書周辺の諸問題などから興味や関心を引き出すことを考えました。

「中級」この段階の生徒たちは従来の標準的なクラスと同じように考えることができます。彼らは以前から教会学校に継続して出席している生徒たちです。しかし、聖書知識においてまだ確信をもっている段階ではありません。教会には習慣的に来ていますが信仰生活に対する積極性を欠いており、他の人に自分の信仰をあかしするほどの強さがありません。彼らには聖書の知識をさらに深める動機を与え、知識が信仰に結びついた実践的な信仰を育成していかなければなりません。

「上級」この段階の生徒はすでに救いの確信を持っており、献身的な態度で、信仰がさらに成長することを望んでいます。それと同時に従来の標準的な授業では不満足です。自分の持っている聖書知識と実践の場でそれを実行する時に生じる様々な課題に行き詰まりを感じて悩んでいます。このような生徒は目が覚めるようなチャレンジを待っています。具体的な指導を求めています。そうすれば彼らはこれからも信仰において積極的に献身的な人生を選ぶことでしょう。

今回は「教理・実践・聖書の読み方」の三部門を3年間36単元で構成されるカリキュラムの内容を詳しく説明します。

千里キリスト教会 牧師 徳本 篤



## お知らせ

- ☆ CEMの教材を使用して
- ☆ 高校科テキスト編集について
- ☆ CEM会計報告

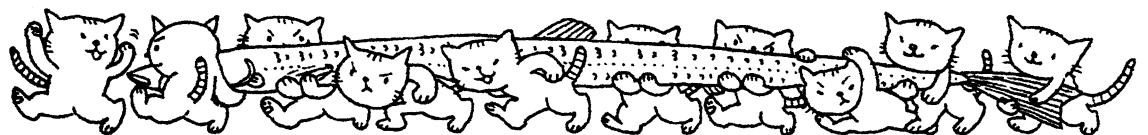


### ☆ CEMの教材を使用して

高石聖書教会よりCEM教材を使用しての感想をいただきました。今回と次回に分けて掲載いたします。

この教材に出会うまでは、いつも今年度はどこのテキストを使うか、何をどう教えたら良いのかと、悩みに明け暮れていました。テキストを選ぶ時は、往々にして、自分の使いやすさで選ぶことが多いのではないかと考えています。生活に適用しなかったり、内容が良いとは限らないし、毎週のことなので、目先の変わったことは続かないのです。20年程前でしたでしょうか。牧師より、教会教育推進会のテキストを紹介され、研修会に皆で参加させていただき、使うようになりました。全年令用にそろっているし、何を使おうかと迷わなくても良いし、生徒用のテキストには、学びと応答の部分があり、私たちの願っていたテキストでした。子どもたちの信仰の成長は、確かに成長し、中学生、高校生へと、学びが続いています。信仰の決心が与えられる子、また、バプテスマの決心をする人が与えられています。

私どもの教会でのテキストの使い方は、CEMの願っている使い方ではないかもしれませんが、各クラスの子どもたちの様子を見ながら、教会行事に合わせ、柔軟に対処しながら用いさせていただきます。



私の4人の子どもたちは、CEMのテキストで信仰が養われ大きくなりました。それぞれに信仰が与えられ、社会人として歩んでおります。また、何人かは教会学校教師として奉仕させていただきます。

高石聖書教会 教会学校校長 輪田みつぎ



### ☆ 高校科テキスト編集について

高校科テキストはスクリプチャープレス版の翻訳ではなく、CEMにて編集委員会を立ち上げ編集しております。初めての生徒にも、受洗を考える生徒にも、クリスチャンとして信仰生活を続けている生徒にも適用できる画期的な内容となるよう検討を重ねて作業しております。編集作業が早期に完成しますようお祈りおねがいします。



### ☆ CEM会計報告

各教会、維持会員のみなさまの尊い献金を心より感謝申し上げます。主から与えられております教会教育のビジョンをもって、これからも働きを続けて参ります。引き続き教案をご活用いただきますようよろしくお願い致します。

2011年度収支

収入	販売高	379,700
	献金	1,066,720
	雑収入	7,055
支出	売上原価	163,661
	諸費用	802,663
	当年度損益	487,151

献金内訳

MB 献金	525,800
特別献金	75,420
維持会員献金	465,500

尊い献金を心から感謝申し上げます。

2011年9月～2012年2月末

◇献金いただいた教会名(敬称略)

尼崎キリスト教会 石橋キリスト教会 石橋キリスト教会  
教会学校 泉北キリスト教会 土山キリスト教会 総持寺  
キリスト教会 羽曳野キリスト教会 枚方キリスト教会

平野キリスト教会 武庫川キリスト教会 以上10教会  
桑名キリスト教会教会員 以上1名

※CEM献金をよろしく申し上げます。ご連絡いただければ郵便振り込み用紙をお送りいたします。